

第3回 紀の川市水道事業運営審議会議事要旨

令和4年5月24日（火）に開催を予定しておりました第3回紀の川市水道事業運営審議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催となりました。

- 令和4年5月19日（木）書面による審議依頼
- 令和4年5月31日（火）回答期限

- 書面審議を行う議案
 - （1）紀の川市水道事業ビジョンの中間評価について
 - （2）紀の川市水道事業経営戦略の中間評価について

- 配布資料
 - ①紀の川市水道事業ビジョン（中間評価）
 - ②紀の川市水道事業経営戦略（中間評価）
 - ③紀の川市水道事業ビジョンの中間評価について（補足説明）
 - ④紀の川市水道事業経営戦略の中間評価について（補足説明）

回答委員：仁藤会長、田村副会長、菅原委員、根末委員、野村委員、恩賀委員、三浦委員、堀委員、前川委員、坂下委員 以上10名

未回答委員： なし

審議事項

- （1）紀の川市水道事業ビジョンの中間評価について

《質疑応答》

委員

耐震性能を見直した、耐震性判定を見直したと補足説明にあるが、もう少し具体的にご教示いただきたいです。

事務局

打田第2配水池2号と桃山第3配水池については、元々耐震化事業費を見込んでいますが、水道技術研究センター発行の「浄水施設簡易耐震診断の手引き」より、1980年以降から15,000m³以下のPCタンクは耐震に問題ないと判断が可能となっており、水道施設耐震工法指針・解説に準拠していることから、設計・建設年代を考慮すると、所定の耐震性能を確保していると判断いたしました。

- ・打田第2配水池2号 1,500 m³（1996年建設）
- ・桃山第3配水池 2,077 m³（1997年建設）

委員

応急給水拠点整備を計画したとありますが、その拠点整備の内容を教えてください。

事務局

施設の耐震化や緊急遮断弁の整備等が進んでいる穴伏浄水場と貴志川第3配水池を応急給水拠点として給水口等の整備する計画を立てています。

(2) 紀の川市水道事業経営戦略の中間評価について

《質疑応答》

委員

コロナ禍により、給水収益に影響はありますか？

事務局

現経営戦略では、年々、人口減少とともに水需要が減り給水収益が減少する見込みでしたが、中間評価では、令和2年度において給水人口は減少していますが、逆に水需要は増加しております。コロナ禍による外出自粛などにより家庭用の使用が増加したことが要因であると分析しております。同年基本料金を6ヶ月免除したため、給水収益は減少していますが、一般会計から免除分は繰り入れており、免除分を戻すと、料金改定と水需要の増加により給水収益は大きく増加しています。コロナ禍による将来的な影響は予測がつかないため、令和3年度以降の見通しには見込んでおりません。